

日本看護図書館協会 2013 年度第 46 回研究会報告

教育・研究担当理事

北里大学看護学部図書館 竹嶋純子

看護図書館員の育成及び資質向上のために、日本看護図書館協会は、毎年研究会を開催しています。

今年度、新メンバーによる委員がはじめて企画・執行した、北海道の名寄市立大学を会場とした第 45 回研究会（2013.8.23 開催）に続き、島根県立大学出雲キャンパスをお借りして 10 月 5 日（土）に第 46 回研究会を開催致しました。

開催地の出雲は、今年 60 年に一度の聖年「大遷宮」の年にあたります。全国の八百万の神様が集合されるといわれている神在月（本来は旧暦）にあたる記念すべき時に研究会を開催することができたことに、何か素敵な御縁を感じたのは、私一人ではなかったと思います。そして、その記念すべき年に開催される第 46 回研究会に相応しいテーマとして、近年、グローバル社会で活躍する人材育成の強化や新たな知識・技術の習得が重要視され、社会人の「学び直し」のニーズが高まりを見せていることに着眼し、私たちが普段日常業務に追われ、見失いがちな図書館員としての基本を見直すことで、図書館利用者サービス向上へと繋げられるきっかけとなるように「図書館員の学び直し」を今回の研究会テーマに設定しました。

このテーマに基づき、ご卒業後、司書として図書館でご活躍され、現在は広島文教女子大学で教鞭を執られている庄ゆかり准教授をはじめ、国際医療福祉大学の今田敬子教授と聖路加看護大学図書館の松本直子氏のお二人にも講義をお願いしました。

庄先生の講演では、ご自身の貴重な体験を元に、とても分かり易く、「学び直し」とは現在の自分の足りない分を補うためなのか？それとも知識を更に深めたいのか？を各自が探求し、それぞれが目標を定め、目標に向かって何をするかが大切であるということ再認識することができ、今後の図書館活動を見直す機会が与えられたように思えました。

今田教授の講義では、私たちが看護図書館員としてこれから何をやりたいのか？なぜそれができないのか？を十分に調査し分析することの大切さを習得することができたように思いました。

また、「看護図書館を創る：蔵書とサービスの構築」と難しい標題にもかかわらず、講義の進め方や参加者への接し方については、図書館へ戻ったら、学生の文献検索指導等の際に大いに参考になるもので、早速活用させて頂こうと心に決めました。

プログラム最後の松本氏の講義は、事前学習も出され（参加された方の中には、この課題で私同様少し不安になられた方もいらしたのではないのでしょうか？）、レファレンスに関するご自身の体験談や失敗談のユーモラスなご紹介の中に、講師のレファレンスへの熱意と愛情が感じられました。また、グループワークも取り入れられたため、隣席の方とのコミュニケーションをとることもでき、事前学習で不安だった自分がどこかへ行ってしまった事を後になって気付かされました。笑いの中にレファレンスの本質を表現された松本講師の力量に圧倒された時間でした。

今研究会では、プログラムに記載はありませんでしたが、看護図書館員の育成及び資質向上のために、尽力頂いている研究グループの一つの「看護図書館パスファインダー研究会」（代表：園田学園女子大学図書館・灘井雅人氏）によるポスター展示も同時に実施されました。

パスファインダー研究会の活動報告が主な内容で、参加者からの質問が出される都度、灘井氏により丁寧な説明がなされていました。参加者アンケートにも「有意義だった」と評価を頂いています。

前回同様、ここで参加された方々からのアンケートをご紹介します。参加者 40 名のうち 33 名の方から回答を頂きました。

参加者の半数が大学図書館所属で、次いで専門学校・短期大学の方でした。名寄・出雲の両会場とも、非会員で病院図書室所属の方にご参加頂くことにより、情報交換の内容がより一層広がったように思えました。

図書館経験年数の設問については、「5年から10年以上」のベテラン職員が全体の70%強を占め、次いで「5年未満」のフレッシュ職員と図書館職員以外の方と幅広くご参加頂きました。

情報源の設問では、「会報とメーリングリスト」が全体の63%を占め、「知人から知らされた方」が10%強いらしたことは、図書館員の連携の良さを（口コミ等）再確認できたように思われます。

研究会全般の印象についての設問では、「大変有意義だった」が全体の70%で、「有意義だった」が30%と好評を頂きました。

また、コメントでは、「私は司書ではないが、図書委員としての役割を果たすために、少しでも理解したくて受講させて頂いた。とても有意義でした」、「講師の方、みなさんとても分かりやすくお話頂いてとても役立ちました」、「普段は聞けない看護図書館のおはなしを聞くことができました」、「図書室として今後の運営・活動に対するヒントが得られた」、「ベテランの講師陣による内容は、どれも大変有意義でした。耳が痛くなることもあり、深くうなずくこともあり、笑うこともあり、内容が濃く、楽しい会でした」、「また次回の研修も参加してみたい」「非会員でしたが、興味をもちました」「すごくあたたかく、楽しい会でした」等沢山のご意見を頂戴しました。

前回同様、今回頂いた貴重なご意見は、今後の研究会ならびに研修会に反映させて参ります。

最後になりましたが、今年度新メンバーで、2回の研究会企画・執行の機会を頂いたことに感謝致します。また、名寄・出雲の両会場では、不慣れな役員を支えて下さった館長先生はじめ職員の皆様、毎回、楽しく有意義な会に盛り上げて下さった講師の皆様、そしてご多忙にもかかわらず各研究会にご参加頂いた皆様にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

次年度も、よりよい研究会・研修会を企画したいと委員一同思っております。

研究会・研修会へのご意見・ご要望・アイデア等がございましたら、是非理事・委員会へお寄せ頂きたくお願い申し上げます。

プログラム

2013年10月5日(土)

12:30~13:00 受付

13:00~13:10 開会挨拶

教育・研究理事挨拶

北里大学看護学部図書館 竹嶋純子

会場校挨拶

島根県立大学出雲キャンパス図書館長 加納尚之氏

13:10~14:10 講演

「図書館を3つの立場から考える：職員、学生、教員」

広島文教女子大学 准教授 庄ゆかり氏

14:10~14:20 休憩

14:20~15:20 講義1

「看護図書館を創る：蔵書とサービスの構築」

国際医療福祉大学 特任教授 今田敬子氏

15:20~15:30 休憩

15:30~16:50 講義2

「学びの機会としてのレファレンス」

聖路加看護大学図書館 松本直子氏

17:00 閉会

2014年度研究会開催予定

第47回研究会

日程：2014年8月21日(木)・22日(金)

会場：昭和大学長津田校舎図書室

(〒226-8555 神奈川県横浜市緑区十日市場町1865)

第8回新人研修会

日程：2014年10月18日(土)

会場：甲府看護専門学校図書室

(〒400-0026 山梨県甲府市塩部3-1-4)